取扱説明書

ボンキャリー

BOMBE JACKUP CART CONTRIVANCE

この度はボンキャリー１４０型(RK−BC−140)をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

目　　　次

マークについて

本書で使用されているマークには次のような意味があります。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

重要

誤って操作すると、本体およびボンベ破損の原因になることがあります。

操作の前に

操作をする前に知っておいていただきたいこと、あらかじめ準備していただきたいことなどを説明しています。

補足

操作するときに気をつけることや安全にご使用いただくための内容、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

参照

参照先を示します。

安全に関するご注意

本機を正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」を良くお読みになり、十分に理解されるまで作業を行わないでください。
取扱説明書以外の使用や改造及び分解による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

使用目的

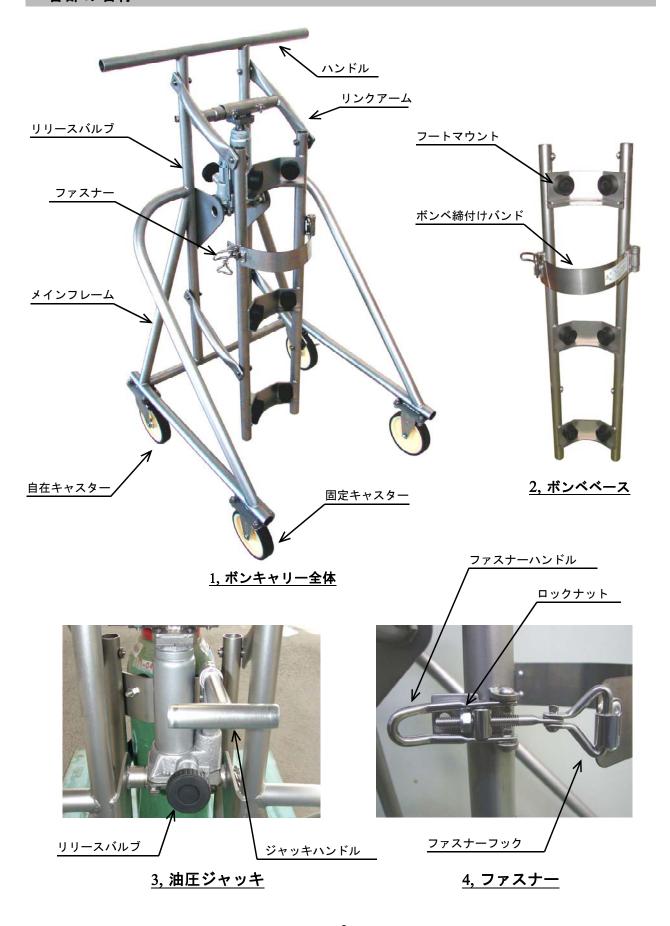
ボンキャリー１４０型は直径１４０ mm ガスボンベ専用の搬送および台上設置用台車で、手押し台車としてボンベ搬送及び最長で床面より約２００ mm の高さまでの台へボンベを設置するためのボンベ搬送設置台車です。

各部の名称

1, ボンキャリー全体

2, ボンベベース

3, 油圧ジャッキ

4, ファスナー

使用方法

警　　　告

○ 指定されたボンベ以外及びその他の搬送に使用しないでください。転倒の恐れがあります。

○ 搬送路には油などの汚れで滑りやすい所、急な坂、斜め地形、安定の悪い地面を避けて搬送してください。

○ 移動中はリリースバルブの操作を行わないでください。つまずき転倒の恐れがあります。

注　　　意

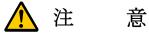
○ ご使用前に正常に作動するかを点検、確認の上ご使用ください。

○ リリースバルブは必要以上に回さないでください。

○ 急な坂、斜め地形、安定の悪い地面でボンベの積載、設置作業を行わないでください。

○ 積載、設置時はキャスターを確実にロックして作業をおこなってください。

① ボンベの積載

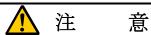
1）搬送するボンベの手前に停止し、ボンベ締付けバンドを開いて受入れ状態にします。

ボンベ締め付けバンドで固定するまではボンベを手またはその他の方法で支持してください。ボンベが転倒すると危険です。

5，ボンベ受入状態

2）ボンベがフートマウントに軽く接触する位置まで「ボンキャリー」を移動させ、リリースバルブを開いてボンベベースを降下させます。

7, フートマウント接触位置

6, ボンベベースの浮かせ量

3）後輪キャスターをロックし、ボンベ締付けバンドを閉めます。

ボンベ締め付けバンドを閉じる際、バンドの蝶番及び締付け部で指を挟み受傷する恐れがあります。

8, ボンベ締付けバンドを閉じた状態

4）ファスナーのフックをボンベ締付けバンドに掛け、ファスナーを締めます。

補　足

ボンベ締付けバンドの締付け力が弱いと感じた場合には、締付け力の確認を行って下さい。

重　要

ボンベ締付けバンドの締付け力確認、調整は毎月定期的に行って下さい。

参　照

（P 9）「ボンベ締付けバンドの調整」

9, ファスナー締付け状態

5）ファスナーが確実にロックした事を確認し、リリースバルブを閉じます。

10, リリースバルブ回転方向

6）ジャッキハンドルを操作し、ボンベベースを上昇させます。

注　　意

上昇操作時にリンクアーム等の可動部に手を近づけないで下さい。挟まれて受傷する恐れがあります。

11, ボンベベース上昇状態

7）後輪キャスターのロックを解除し、目的地へ搬送します。

12, ボンキャリー搬送状態

 注　　意

ボンベベースを最大上昇状態のまま移動すると、条件によっては不安定になり転倒の恐れがありますので、リンクアームが平行より下を向く位置で搬送を行って下さい。

重　要

右写真「13,　搬送時の上限位置」の位置よりも下げた位置で搬送して下さい。

13, 搬送時の上昇限度位置

② ボンベの設置

1）ボンベを積載した「ボンキャリー」を設置場所の高さより高くします。

重　要

ボンベの設置場所は急な坂、斜め地形、安定の悪い地面を避け、平坦で安定した場所を選んでください。

14, 設置場所との間隔

2）「ボンキャリー」を設置場所まで移動させ、後輪キャスターをロックします。

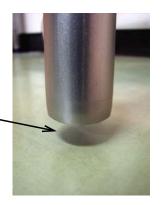
15, 設置場所への移動

3）リリースバルブをゆっくり開き、設置場所へボンベベースを降下させます。

注　　　意
○リリースバルブを急激に開かないで下さい。 　ボンベベースが急激に降下し危険です。 ○必要以上に開くとオイル漏れの原因になります。

16, 設置場所へ降下

4） ボンベが接地したことを確認してからファスナーを緩め、リリースバルブを閉じ、ジャッキハンドルを操作してボンベベースを床面から少しだけ浮かせた状態にします。

ボンベベースを床面に
接触しない程度浮かす

17, ボンベベースの浮かせ量

5） ボンベ締付けバンドからファスナーのフックを取り外し、ボンベ締付けバンドを開きます。

注　意

ボンベ締め付けバンドを緩めた後はボンベが不安定になるため、ボンベを手またはその他の方法で支持してください。ボンベが転倒すると危険です。

18, ボンベの取り外し

6） 後輪キャスターのロックを解除して「ボンキャリー」を後退させます。

補　足

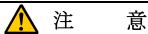
「ボンキャリー」を移動する際、リリースバルブを閉め、ボンベベースをわずかに上げて床面から離した状態にしておくとスムーズに移動できます。

19, ボンキャリーの後退

③ ボンベ締付けバンドの調整

※ ボンベ締め付けバンドは毎月１回、締付け力の確認を行って下さい。

⚠ 警　　　告
○ 調整に使用するボンベは指定されたサイズを使用し、それ以外のボンベで調整を行わないでください。ボンベの脱落、転倒の原因となります。 ○ 締付け調整は規定の範囲内になるように調整してください。規定外の調整を行った場合、「ボンキャリー」の破損またはボンベの脱落、転倒の原因となります。

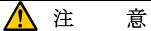
1）「ボンキャリー」を平坦な場所へ移動し、ボンベ締付けバンドを開いて受入れ状態にします。

注　　意
ボンベ締め付けバンドで固定するまではボンベを手またはその他の方法で支持してください。ボンベが転倒すると危険です。

20, 平坦な場所へ移動

2）ボンベがフートマウントに軽く接触する位置まで「ボンキャリー」を移動させ、リリースバルブを開いてボンベベースを降下させます。

22, フートマウント接触位置

21, ボンベベースの浮かせ量

3）後輪キャスターをロックし、ボンベ締付けバンドを閉めます。

23, ボンベ締付けバンドを閉じる

注　意

ボンベ締め付けバンドを閉じる際、バンドの蝶番及び締付け部で指を挟み受傷する恐れがあります。

4）ファスナーのフックをボンベ締付けバンドに掛け、ファスナーのハンドル先端部にプッシュプルゲージの引っ張り計測側を取り付けます。

補　足

プッシュプルゲージが無い場合には、「引っ張りバネ式重量計」で調整できます。

24, プッシュプルゲージの取り付け

5）プッシュプルゲージをファスナーハンドルに対し直角方向に引っ張り、締付け規定引っ張り強さの範囲でロックする事を確認します。

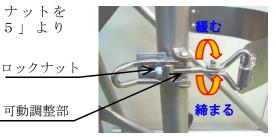
※ 規定引っ張り強さ

５０Ｎ＋１０％ (5.09 ～ 5.61 kgf)

25, 引っ張り強さの計測

操作の前に

計測時、ファスナーハンドルに対して直角になるように引っ張り、計測を行ってください。
角度が極度にずれると計測値が異なってまいます。

6）引っ張り強さが規定外の場合には、ロックナットを緩め、可動調整部にて調整し再度、「手順５」より作業を行います。

26, 締付け量調整部

7）調整が完了したらロックナットを確実に締めてください。

④ 油圧ジャッキのメンテナンス

※ 給油及びエア抜きは必要に応じて行ってください。

A エアー抜き

1）「ボンキャリー」を平坦な場所へ移動し、後輪キャスターをロックします。

キャスターをロック

27, 平坦な場所へ移動

2）リリースバルブを開け、給油栓を取り外します。

給油栓

29, 給油栓位置

28, リリースバルブ

3）素早くジャッキハンドルを５～６回操作します。

30, ジャッキハンドル操作

4）リリースバルブを閉じてから給油栓を取り付け、オイルがこぼれた場合はウエス等で拭き取ってください。

32, 給油栓位置

31, リリースバルブ操作

Ｂ 給　　油

1）「ボンキャリー」を平坦な場所へ移動し、後輪キャスターをロックします。

キャスターをロック

33, 平坦な場所へ移動

2）リリースバルブを開けてボンベベースが降下し、ジャッキピストンが降りきっている事を確認します。

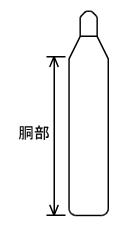
35, リリースバルブ操作

34, ボンベベース降下

3）給油栓を外し、オイル（一般作動油 ISO VG22 ～ 46）を給油口の下端まで給油してください。
給油後は、給油栓を取り付け、オイルがこぼれた場合はウエス等で拭き取ってください。

36, 給油栓位置

仕　　　様

	項　　　目	内　　　　容
1	型　　　式	RK-BC-140
2	最大積載重量	５０ｋｇ
3	対 応 ボ ン ベ	直径 １４０mm 高さ 胴部８００mm以上※1
4	昇降ストローク	２３０mm
5	昇 降 方 式	手動油圧ジャッキ
6	寸　　　法	W 580 ×D 600 ×H 1030 (mm)
7	自　　　重	２２ｋｇ

※１ 胴部とは、ボンベ下端より伸びる直線部を示しています（上図参照）

こんな時は・・・故障と思われる前に（Ｑ＆Ａ）

主 な 症 状	原　　　因	処　　　　置
ボンベベースが上昇しない	リリースバルブが開いている	リリースバルブを右に回して確実に閉じてください
最伸長まで上昇しない	オイルの不足	オイル（一般作動油 ISO VG22～46）を給油してください
ボンベベースが沈降する	リリースバルブの締込み不足	リリースバルブを右に回して確実に閉じてください
	その他	弊社までお問い合せください
ボンベベースが自然に上昇する	ジャッキ内部に空気が入っている	ジャッキのエアー抜きを行ってください
	オイルの入れすぎ	給油口の下端までオイルを抜いてください
オイルが漏れる	シールパッキンの不良	弊社までお問い合せください
ファスナーをロックしてもボンベの固定ができない	規定サイズ外のボンベを取り付けている	規定サイズボンベのみにご使用ください
	ファスナーが緩んでいる	弊社規定の締め付け設定値に調整しなおしてください
	フートマウントが摩耗している	弊社までお問い合せください

■ お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文、および製品の操作方法に関するお問い合わせは弊社へご連絡下さい。

〒854-0065
長崎県 諫早市津久葉町１８８３－２０
TEL 0957-25-0111　FAX 0957-25-3111
http://www.ryokeiso.co.jp

２００６年 ８月
KX06-001 / RK-BC-140（M） Rev.1